

2011～2012年度



国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー (インド・バピRC)

RIテーマ Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

第2520地区ガバナー 菅原 一博 (仙台RC)

第6分区ガバナー補佐 和田 忠 (塩釜RC)

第40代会長	加藤 千明	直前会長	大場 裕之
副会長	佐藤 良一	クラブ奉仕委員長	鈴木 誠
幹事	大友 和弘	職業奉仕委員長	菅野 智
副幹事	穀田 満	社会奉仕委員長	穀田 満
会長エレクト	佐藤 良一	国際奉仕委員長	佐藤仁一郎
会計	関 晴夫	青少年奉仕委員長	宮城 順
監事	岩井 寛二	40周年実行委員長	佐山 輝明
会場監督	林 智		



国際ロータリー第2520地区 菅原一博ガバナー公式訪問 2011年9月1日 多賀城ロータリークラブ

会長就任の直前、大場裕之会長時に起きました3.11「東日本大震災」により市内の三分の一が津波被害に合い、その津波により会員11名もそれぞれの会社、自宅を失い、中でも阿部新康会員の奥様は、避難途中で津波に襲われ命を落とされてしまいました。目前に次期会長職が決まっていた私にとって、この大惨事をどう乗り越えればいいのか、この難事の中、40周年の記念行事をして良いのか、どの様にすればよいのかなど、「えらい時に会長職を受けてしまった。」というのが本音でした。

そんな中、状況を危惧し、いち早く連絡を取り、駆けつけていただき、多額の支援金を添えて励ましていただいたのが、姉妹クラブの富山県・高岡万葉RCでした。時を同じくして、今まで耳にしたこともない全国のRCよりも支援の声が届き、支援物資、義援金だけでなく、直接当地に入って私共、市民に励ましの活動もしていただきました。

そのような全国、世界からの支援、応援をいただいている中で、私共もその温かい気持ちに答えなければと会員一同、改めて気付かされ始めました。そのためには、これまでの活動を基にした単なる記念行事にするのではなく、ともすれば時間の経過とともに忘れてしまいがちなこの震災の記憶を忘れることなく、また、思うように復旧・復興が進まず、塞ぎこみたくなる気持ちを、共に参加し、少しでも明るい方向に向けていけるような記念行事にしたものだ考えるようになりました。そのような記念事業を進める上でも各方面から思いもよらぬ多くのご支援、ご協力を賜り、素晴らしい周年事業とすることができたものと感謝しております。

一年の任期の中では、クラブとしてやり残したことも多多あったかもしれませんが、ロータリークラブとしての充実、少しずつ落ち着きを取り戻してくるであろう次年度、更に続く年度へとお願ひして参りたいと思います。そして、この先も地域社会とともに生き、ロータリークラブとしてこの社会に貢献していける多賀城RCであることを願うばかりです。このような年に会長職を仰せつかったことに感謝申し上げます。1年間ほんとうに有難うございました。